

# 西田町少子化対策 プロジェクトチームだより 第2号

2020年3月発行  
事務局 西田行政センター  
☎972-2111



プロジェクトチーム  
会長 松崎 昭

皆様には、地域活性化のため、各種事業への御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年に人口減少対策及び地域活性化に取り組むプロジェクトチームを発足しました。また、昨年には、町内の高校生が「I♡NISHITAプロジェクト」を立ち上げ活動を開始したところであります。若い世代が西田町のために活動する姿は大変頼もしく、できる限り支援をしたいと思っておりますので、皆様におかれましても地域が一体となったまちづくりについて御支援を賜りますようお願いいたします。

発足：平成30年7月31日

会員数：23名

区長会、社会福祉協議会、  
明るいまちづくり、青少年  
健全育成、商工会、民生児  
童委員、ボランティア連絡  
会、西田学園PTA、農業委員、  
農地利用最適化推進委員

## 本年度活動の概要

少子化及び地域活性化の問題を効率的に検討するため、住宅団地部会、街づくり部会及び広報部会の3部会を設置し、各部会において対策を協議しました。また、昨年6月には、私たちと同様に地域課題について検討している「中央台みらい会議」（いわき市）の方々との意見交換会を行いました。

### 住宅団地部会

- ・空き家の有効利用を図るため、区長会の協力を得て空き家の実態調査を行いました。所有者がわかる空き家は、所有者に利用の相談窓口となる「空き家バンク」を案内しました。
- ・住宅団地造成の参考とするため、役員会において元不動産業者の方を招き、宅地開発の方法、造成費用等についての話を行いました。



### 街づくり部会

- ・西田町を、四季を通じた花の里にするため、春以外の季節に咲く花木の植樹を検討しました。候補として、夏から秋に咲く百日紅（サルスベリ）の植樹を検討するため、役員会では二本松市にある東和サルスベリ園を訪問し、担当者から植樹、維持管理等の説明を受けました。その後、部会において、植樹の検討を継続して行いました。



### 広報部会

- ・昨年3月に作成した花の里観光マップの改訂版を作成し、周辺のコンビニ、ショッピングセンター等に配置しました。
- ・プロジェクトチームだよりを発行し、チームの活動状況を報告しました。



裏面に、西田町に転入された方への  
取材記事を掲載しましたのでご覧ください。

## 西田町に移住されたご家族を紹介します

芹沢地区に住む松崎さんご家族は、昨年5月に喜久田町から引っ越してきました。プロジェクトチームでは、松崎さんに西田町に移住した理由などを伺ってきました。

### 西田町に移住した理由を教えてください

4月から上の子が小学校に入学しましたが、学校のお迎えなどの面倒を見てもらいやすいことなどから、親元である西田町に住むことに決めました。

また、以前住んでいた喜久田町の学区はマンモス校が指定校であったため、少数精鋭の西田学園に通わせたいと思いました。西田学園の環境や設備も決断の理由です。

### 移住に際し、苦労したことはありましたか

移住を決断してから土地の売買契約をするまでに大変時間がかかりました。地目を「農地」から「宅地」に変更して購入し、住宅を建てましたが、市役所（農業委員会）の農地除外の申請が停止されている期間があったり、上下水道が近くにきていないなど、現在の場所に決まるまで1年近く費やしました。

### 移住して良かった点とそうでない点は

以前住んでいたところは公園から離れており、駐車場や道路では危ないため外遊びができませんでした。芹沢に来てからは、庭先や近くの「ちびっこ広場」で伸び伸び遊ぶことができ満足しています。また、親、兄弟が芹沢にいるので、子どもの面倒を見てもらい大変助かっています。買い物についていえば、ドラッグストアや家電量販店などを含む大型商業施設が近くにあれば良いと思います。



取材を受けていただいた  
松崎さんご家族

### 農地転用に関する手続きについては、改めてお知らせする予定です

#### ■取材を通じて感じた点

松崎さんのように西田町に実家があり、町外に借家住まいをしている世帯も多くいると思います。子どもが小学校に入る前、できれば幼稚園の頃から、土地提供者や空き家の持ち主と入居希望者とのマッチングができる「しくみ」を構築すれば、もっと農地や空き家の利用がさらに増えていくと思います。

少子高齢化が進む西田町に子どもたちの元気な声を響かせるため、西田町民による少子化対策を結集させようではありませんか。（取材：広報部会 増子義夫）